

## I. はじめに

本報告書は、株式会社日立製作所および主要グループ会社の技術経営とその要素である「研究開発」および「知的財産(知的財産権、ブランド)」に関する情報を提供することを目的としています。報告対象期間は2006年度(2006年4月1日から2007年3月31日まで)とし、一部、2007年度からの組織体制、新規施策等についても記載しています。

## II. 日立グループの技術経営

### 1. 目指すべき日立の姿

いつでも、どこでも、誰でもが情報を受け取ったり発信したりできる社会、そして、企業、公共、個人の壁を越えて誰もがつながり、情報を活用することで、新たな価値の連鎖を享受できる社会、そんな「ユビキタス情報社会」が到来しています。幅広い事業領域のノウハウとITで、ユビキタス情報社会ならではの価値創出、ひいては豊かな生活とよりよい社会の実現に貢献してゆく、その決意が、日立の事業コンセプト「uVALUE(ユーバリュー)」です。uVALUEは、ユビキタスの‘u’と価値‘value’とを組み合わせた日立の造語で、ビジネス、ライフ、コミュニティが互いにつながり、価値を創造していくユビキタス情報社会において、お客様にもたらされる「価値」です。日立は、この価値を、お客様のベストソリューションパートナーとして、共に創出していきます。

このコンセプトのもと、日立は一つとなり、真の総合力を発揮して、お客様と社会に新しい価値を提供し、次の時代に新しい息吹を与え続ける企業グループを目指します。日立グループの大きな使命として掲げているコーポレート・ステートメント「Inspire the Next」は、これからも変わることはありません。

### 2. 技術経営の考え方

安定的で高収益な事業ポートフォリオを実現すべく、特に、「社会イノベーション事業」を強化します。社会イノベーション事業は、社会基盤や産業基盤、生活基盤といった、人々の生活を支えていく社会インフラシステムと、情報基盤の情報システムサービスをさらに強化、融合することで新時代のライフラインを支えるソリューションを生み出し、高い技術と知識を集約したグローバルで競争力ある製品やサービスを提供していきます。また、「基盤技術製品事業」では、高機能材料等、差別化技術について、「社会イノベーション事業」とのシナジーの最大化を実現していきます。そのために、研究開発戦略、知的財産戦略、事業戦略を以下の基本的な考え方のもと、三位一体で推進しています。

- ・強い事業へ研究開発等の投資を重点化し、イノベーションの創出
- ・成長する海外の社会インフラ市場でのマーケット・インを徹底し、グローバル化の推進
- ・グループ内の多様な経営資源を活用し、事業間シナジーによる価値創出

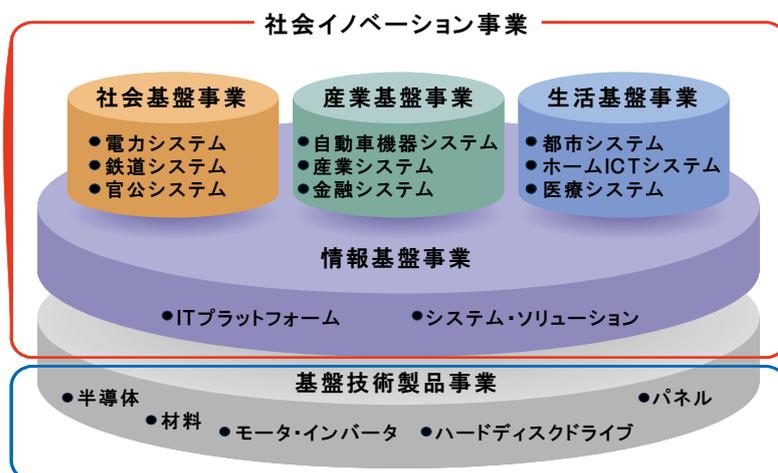


図 2.1 協創と収益の経営